



北出ひまわりだより



病児・病後児保育室ひまわり 2025年 9月

9月に入り暦の上では秋ですが、残暑厳しい毎日です。引き続き熱中症対策にも気を付けて下さい。子どもたちは、元気いっぱい夏の遊びを楽しんだと思いますが、夏の疲れが出やすくなる時期です。ゆっくりお風呂に入り、たっぷり睡眠をとるなどして、体調を崩さないようにしましょう。

気をつけたい 感染症

伝染性紅斑(りんご病)



幼児～小学生くらいの子供に多い感染症です。その名のとおり、頬が赤くなり、発熱やだるさ咳やくしゃみなど、風邪のような症状が出てきます。飛沫感染しますが、実は人に感染させてしまうのは、頬が赤くなる前。赤くなったら他の人に移す心配はありません。

8月の利用状況

上気道炎	13名
気管支炎	3名
感染性胃腸炎	2名
りんご病	2名
合計	20名

気象警報発令時の対応について

御坊市に大雨・洪水・暴風・津波等の「気象警報」が発令されたときの対応について、お知らせします。

- (1) 午前8時00分現在、御坊市に気象警報が発令されている場合 → **入室します**
※午前8時00分以降に警報が解除された場合は、開室します。
(再開時は電話にて利用の確認を行わせて頂きます。)
- (2) 入室後、御坊市に気象警報が発令された場合
→ **病児・病後児保育室ひまわりまで迎えに来て下さい。**
(すぐに迎えに行けない場合は電話連絡して下さい。)



子供に必要な栄養素 ビタミンC

体の中で様々な働きをするビタミンCは植物性の鉄の吸収を高めたり、皮膚などの合成を助けたりします。ビタミンCは熱に弱いので、みかんなどの柑橘類や、様々な野菜の組み合わせから摂るといいでしょう。じゃがいものビタミンCは熱にも強いのでおすすめです。

病児保育に関するシンポジウム

8月7日に和歌山市で開催された、病気やけがで保育園や幼稚園に通えない子供たちを一時的に預かる病児保育について知ってもらおうというシンポジウムに出席してきました。県が初めて開いたもので、シンポジウムでは全国病児保育協議会顧問の藤本保先生が子育て環境の変化や病児保育の重要性についての講演がありました。